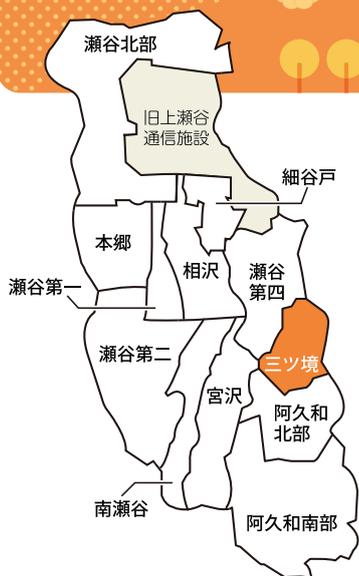


# 三ツ境地区

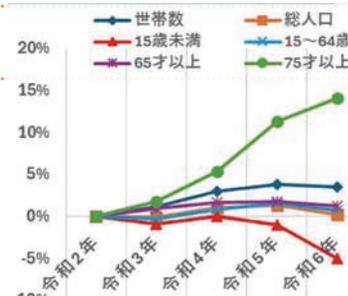


## 1 地区の概況

◆大正15年5月に相模鉄道の最高地点駅(海拔82メートル)として開業した相鉄線三ツ境駅から南へ広がる商業地を含む住宅地域。

◆人口は8,756人で瀬谷区の7.2%。15歳未満900人、75歳以上1,377人、世帯数4,396。自治会加入世帯数は2,671世帯で、加入率は61%です。5年間で現役世代は横ばい、15歳未満5%減、75歳以上が14%増。(上図参照)

◆三ツ境駅のペDESTリアンデッキをはじめとして、公園・小学校・幼稚園・住宅の庭の花壇や、桜、ハナミズキ、銀杏が美しい街です。



【出典:区勢統計要覧 瀬谷】

## 2 第1期～第4期で取り組んだ主な活動や事業

### ◆第3期まで(令和2年度までに立ち上げ)

- 「ほっと三ツ境」「ゆうゆうサロン富士見台」
- ふれあい昼食会「このは会」「第2このは会」
- 子育て支援「ほんわかサロン」
- 防犯パトロール
- 児童安全見守り会
- 高齢者配食「木曜の会」
- 見守り・支え合いカード、緊急カード、保管筒
- 見守りツール「三ツ境ネットくん」
- 「住みよいまちづくり推進委員会」設立
- 「情報交換会(自治会・諸団体の活動紹介)」
- 「三ツ境サポーターズ」活動の開始
- 「見守り・支え合いカード」の改善と更新
- 「障害者理解促進のための勉強会」の開催
- 「こどもの居場所づくり」活動のスタート
- 災害時の「無事確認フラッグ」の作成支援

### ◆第4期(令和7年度まで)

新型コロナの影響で、令和2年から約3年、対面活動ができない厳しい期間があったものの、再開後は「高めよう みんなの ご近所デカラ」をテーマに、可能な範囲でできることから、再開してコロナ前の状態に戻せました。

〈主要推進項目〉

- ①高齢世帯や災害弱者等の見守り活動の充実
- ②「情報交換会」「意見交換会」のより効果的な運用
- ③「三ツ境サポーターズ」活動の強化
- ④「こどもの居場所づくり」活動の推進
- ⑤「児童安全見守り会」の新推進体制の検討
- ⑥健康づくりの「フレイル予防講習会」を新設  
「住みよいまちだより」は全戸配布に変更して平成26年の創刊から通算20号を迎えた

## 3 第5期計画に向けての課題

第4期計画で掲げた「みんなで幸せに長生きをする」および「高めよう みんなの ご近所デカラ」は自治会を中心とした地域活動の究極の目標であり、普遍的なキャッチフレーズとして今後とも三ツ境地区の継続的な活動指針とします。

令和5年9月から令和7年7月まで、折々の委員会メンバーにより4回にわたるグループワークを実施、そこで現在の地域活動における問題点や課題、そして「ありがたい活動の姿」を語り合いました。その中で浮かびあがってきた課題は「若いチカラを活かしたい」「もっと自治会を理解してもらおう」「役員活動をもっと楽しく」の3点です。

## 4 推進母体

### 三ツ境地区住みよいまちづくり推進委員会

三ツ境連合自治会、三ツ境地区社協、委嘱委員会、各種団体が二ツ橋地域ケアプラザ、瀬谷区役所、瀬谷区社協のサポートを得て、様々な課題解決を目的として活動しています。

さらに 若い世代も一緒に みんなで幸せに長生きをするために  
**高めよう みんなのご近所デカウ**

“イザ”という時に、寄り添い助け合えるご近所仲間のネットワーク

## ① 5つの活動のポイント



### ① みんなが安心して暮らせるまち

- 見守り・支え合いカードや三ツ境ネットくんで守る
- 三ツ境サポーターズ制度でしっかり応援
- 心がけいつも 防災活動



### ⑤ 必要な情報が届き、つながるまち

- DXで情報革新
- みんなでつながるネットワークづくり
- 新手の詐欺にもだまされない



### ② 若い人が集えるまち

- みんなが喜ぶ人気のイベントを工夫
- 若者の知恵と力を生かす
- 小中学校との連携力UP



### ④ 健康づくりが無理なくできるまち

- やさしく続けるフレイル予防
- 坂道も気にせず出歩ける
- 立ち寄りたくなるサロン活動



### ③ 自治会や地域活動が楽しいまち

- 役員活動が苦にならない、楽しく愉快地
- みんなで声かけ「おかえり・こんにちは・こんばんは」
- 顔見知りをどんどん増やす

